

平成 17 年 4 月 20 日

神栖町における地下水モニタリング結果（2 月・3 月分）について

1. モニタリングの概要

昨年 8 月以降、今年 3 月まで毎月地下水位を測定した。

また、昨年 8 月、10 月に引き続き、今年 2 月から 3 月に既存ボーリング孔でのジフェニルアルシン酸の分析を行った。

2. モニタリング結果

1) 地下水位観測結果（図 1 から図 8、表 1、表 2）

昨年 8 月、9 月は地下水位が低く、地下水は東から西に向かう流れであった。

昨年 10 月の多雨以降、地下水位は急激に上昇し、A B 間中心付近を尾根として、A 井戸周辺では南東方向に、B 地区周辺では南西方向に分かれる流れになった。10 月の月間降水量は直近 10 年来で最大であった。

それ以降、今年 3 月まで、地下水位分布は同様の傾向を示している。

2) ジフェニルアルシン酸分析結果

A 井戸近傍について（表 3、図 9）

A 井戸直近では、昨年 10 月に引き続き、A 井戸の南西と南東で 2 カ所の高濃度汚染の塊が認められる。A 井戸の南西部分（ボーリング No.79,39 付近）では濃度が低下している一方で、南東部分（ボーリング No.13,37,72 付近）では濃度が上昇している。

また、グランド北西角（ボーリング No.27,155 付近）は、濃度が低下している。

B 地区について（表 3、図 10）

昨年 10 月に引き続き、B 地区中心付近に数百 ppb の汚染が認められ、周辺に向かって薄くなる傾向がある。

A B 間について（表 3、図 11）

昨年 10 月に引き続き、いくつかの地点で、非常に薄い汚染が確認されている。

A B トラックの外縁について（図 12）

17 カ所のモニタリング孔のうち、M-3 孔において、1.5 ~ 2.7ppb のジフェニルアルシン酸を検出した。それ以外の 16 カ所では有機ヒ素は検出されていない。

3. 今後の方針

健康被害の未然防止を図るため、「茨城県神栖町における地下水汚染範囲のモニタリング及び飲用井戸水の安全確保について」に基づき、A Bトラック南西角において、井戸水等の調査を行うとともに、必要に応じて井戸水の飲用等の自粛を要請する。(資料5)

今後とも、引き続き、毎月1回地下水位を測定するとともに、3ヶ月に1回ジフェニルアルシン酸の分析を行い、地下水の流動状況、汚染範囲を把握する。

図1 ABトラック周辺 地下水コンター (H16.8.6)

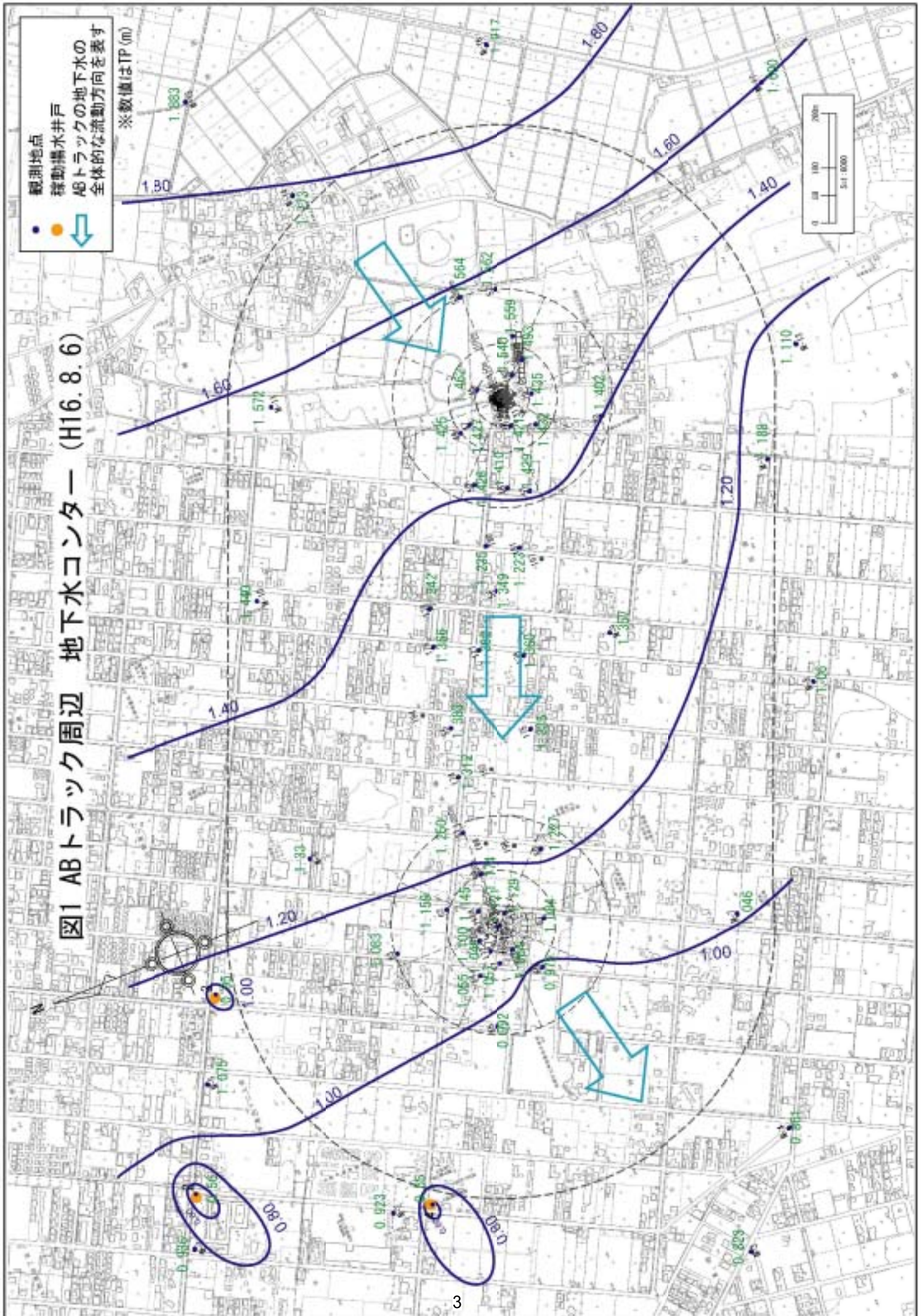


図2 ABトラック周辺 地下水コンター (H16.9.9)

